

編集後記

SPring-8 放射光施設の前期運転期間が終了すると播磨分室の共同利用業務も一段落します。少し落ち着いた心持ちで見上げると夏空が広がっていました。

さて、今回の「物性研だより」では、多数の受賞記事の編集をさせていただきました。物性研の研究者としてその活躍は本当に誇らしく思うと共に、その成果に至るまでの努力も讃えざるを得ません。各記事では研究内容が分かりやすく解説され、また研究現場の細かい様子も書かれているので、是非ご一読いただきたいです。

昨今、「産」「官」「学」の連携がますます重要となっております。本年 6 月 22 日に「様々な基盤技術・基礎科学がどのように産業課題の解決に資するか」という視点で ISSP ワークショップ「物質・材料開発を支える基礎科学」が行政機関も交えて開催されました。私自身も参加しましたが、産業的課題における学術的意義や今後の物質・材料開発と基礎科学の在り方について深く考えさせられました。本号に掲載された報告記事をご覧ください、物性研究の将来像を思い描いてみてください。

松田 巖